

# 審査員からのコメント

今、必要な避難訓練とは？3つの「対話」から始まる防災力向上プロジェクト

本作品は、大きな被害が想定される南海トラフ地震に対して、現在の避難訓練等への取組みでは、実際に災害が発生した場合に適切な行動がとれないのではないかという問題意識のもと、効果的な避難訓練について考察し、実施したものである。これまで行われてきた高校の合同訓練の対象者が高校生と幼稚園児に限られ、高齢者が増加している地域の現状に対応できていないことに着眼し、多様な地域住民を巻き込んで、対話によって最適な避難行動を導き出すことができるような訓練を実施し、支援の必要性等の地域の実態に応じて避難ルートを再検討するなどの成果につながっている。さらに、ここで得られた知見を他の地域へ広げる取り組みも評価できる。一方で、避難訓練に関心が低い、あるいは参加できない住民も多いと考えられる。地域全体が効果的な避難行動をとるためには、そうした住民を巻き込んで意識を高め対策を行う必要があり、そのための対話と訓練に取り組み、本活動を深化・進化させることを期待する。

